

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第36回理事会議事次第

日時：令和7年2月22日（土）16:30-18:00

場所：教職員会館 八汐荘

WEB 会議併用

1 開 会

出席者数の確認、議事録署名人の選出

2 議 事

(1) 事務局からの協議会の現状報告

① 委託状況・運営状況について

◆①事務委託について（期間令和6年4月1日～令和7年3月31日）

事業	委託先	契約金	備考
会計事務およびアラムコ保全活動支援事業	沖縄環境科学センター	500,000円	R6はアラムコ助成金 R5は助成事業を行わなかったため、一般会計にて250,000円歳出
サンゴ礁ウィーク事業	(一社)キュリオス沖縄	1,100,000円	一般会計 R5は548,900円歳出

◆令和7年度新役員について

		代表	担当
会長	鹿熊信一郎		
副会長	八重山サンゴ礁保全協会	吉田 稔	
理事	沖縄県自然保護課	出井 航	
	(一財)沖縄県環境科学センター	渡嘉敷 義浩	
	沖縄県衛生環境研究所		友寄喜貴
	WWF ジャパン		佐々木小枝
	日本サンゴ礁学会	中野 義勝	水山 克
	有限会社コーラルクエスト	岡地 賢	
	しかたに自然案内	鹿谷 麻夕	
	エコツーリズム・環境教育ふくみみ	大堀健司	
	安部真理子	日本自然保護協会	
	案納昭則		
	小菅陽子		
	藤田 喜久	沖縄県立芸術大学 全学教育センター	
	山野 博哉	国立環境研究所地域環境研究センター	

	兼次 賢一	
監査役	中村 崇	琉球大学
	田代 豊	名桜大学
事務局長	沖縄県自然保護課	金城孝一

沖縄リーフチェック研究会 内諾辞退

沖縄県立博物館・美術館 内諾辞退

◆実行委員会について

委員名	人数	主な業務	令和6年度総会まで	令和7年度以降
運営委員	8名	運営に関する業務	委員長：中野 義勝 八重山サンゴ礁保全協議会（吉田 稔） 沖縄県自然保護課（金城） 藤田 喜久 沖縄県環境科学センター（長田、山川） 各委員会委員長	
企画委員	6名	寄付金の受け入れ審査業務	委員長：コーラルクエスト（岡地） 鹿熊 信一郎 案納 昭則 藤田 喜久 八重山サンゴ礁保全協議会（吉田） WWF ジャパン（佐々木、小林）	
広報委員	4名	広報に関する業務	委員長：しかたに自然案内 エコツーリズム・環境教育ふくみみ 小菅 陽子 沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）	
選挙管理委員	7名	選挙に関する業務	委員長：案納 昭則 県自然保護課 沖縄県経科学センター	
法人化委員	2名	法人化に関する業務	案納 昭則 小菅 陽子	

委員会	業務	R 6	R 7
サンゴ礁ウィーク実行委員	イベントに関する業務 R6.9月27日 立ち上げ	実行委員長：鹿谷麻夕 コーラルクエスト（岡地） 八重山サンゴ礁保全協議会（吉田） WWF ジャパン（佐々木） エコツーリズムふくみみ（大堀）	

		沖縄リーフチェック研究会（安部）※ 案納昭則 後藤亜樹 鹿熊信一郎 藤田 喜久 小菅 陽子	
--	--	--	--

（２）R6年度事業「サンゴ礁ウィーク 2025」における協議会主催イベント出展について

- ・2024年におけるサンゴ礁白化現象による甚大な被害に関するイベント実施。
- ・マスコミから白化について問い合わせがあった。
- ・2004の白化ではOISTでの緊急アクションがあったが今回はまだない。（中野氏）
- ・沖縄奄美自然環境事務所が西礁湖の調査結果発表をしたが環境省からのそういう動きはないのでタイミングとしてはいい（中野氏）
- ・サンゴ礁学会においても20件くらい白化をテーマにした発表があった。（中野氏）
- ・白化メカニズムを説明し気候変動まで普及啓発しようという段階にはないのではないかと（中野氏）
- ・サンゴ礁ウィーク期間3/1～3/16であるが期間外のイベントもある。
- ・別途に広報する必要がある。（キュリオス）
- ・関係者だけでもオンラインで状況報告などを記録しておくのもよいのではないかと（安部氏）
- ・オンライン開催ではどうか（鹿谷氏）候補 3/8（土） 3/15（土）

必要なタスク	担当
イベント告知・広報	
会場準備	
報告者	
動画編集	
経費管理	

（３）アラムコ支援事業15周年助成事業報告会（協議会主催）について

- ・令和7年6月～8月で開催。
 - ・会場：万国津梁館での開催。
 - ・アラムコよりイベント会社への委託。（ウィライズ・オキナワ）
- 【協議会で決めること】
- ・開催日時の決定 開催時間（県外から日帰り可能にしたいとのこと）（ランチを想定）
 - ・養殖移植事業者2団体＋助成事業団体2～3団体の選択（過去に複数回採択されたものが望ましい）

- ・成果報告会招待者人数
- ・アラムコ報告会旅費の計算（県外からくる人数と県内離島からの人数）

※同日に報告会費用を除く約300万程度の基金でアラムコが独自にNPO団体と別途にイベントを企画するそうです。このイベントについて、協議会主催となるか、共催となるか、アラムコ主催となるか、未定とのこと。

◎ 【ウィライズ案】

メイン会場：サンセットラウンジ（予定）＊収容人数（スクール形式 40-60名）＊一部シアター形式を混合しますとお席を増加可。

（イベント会社案）懇親会会場（ランチ）：カフェテラス（予定）＊着席（50席）立食（60名）

＊現在、石井様の方から入手しております情報では、報告会本番前日に準備日として2、3時間ほど会場をお借りし、動作確認などのリハーサルも予定しております。とのこと

- ・6月の空き状況

2日-10日、12日、13日、16日～20日

- ・7月の空き状況 8日～11日、14日～18日、22日～31日

※アラムコは金一土 を希望 候補 7月11日 7月18日

（４）協議会運営資金状況について

- ・寄付金のみによるため不安定な運営となる。新たな枠組み検討
- ◆新たな制度の導入・賛助会員制度・有料会員制度・協賛企業制度
- ・県内企業に寄付金依頼を行う等
- ・寄付金についてプレスリリース等

◆寄付金細則の改正について

【参考】

寄付金				
西暦	和暦	寄付一般	アラムコ	kisj
2009	H21	500,000		
2010	H22	6,000		
2011	H23	100,000	11,977,500	
2012	H24	100,000		
2013	H25	130,770	15,808,500	
2014	H26	697,135		
2015	H27	238,342		
2016	H28	572,274		
2017	H29	148,310		
2018	H30	165,447		2,221,363
2019	R1	1,156,188	21,538,000	2,600,000
2020	R2	22,000		
2021	R3	1,168,000	22,866,000	
2022	R4	196,000		
2023	R5	224,000		
2024	R6			
2025	R7			
		5,424,466	72,190,000	4,821,363

【寄付金内訳】

R5年度寄付金一覧				
R5	5月9日	沖環科からの寄付（南陽土建）	寄付（一般）	2,000
R5	4月10日	セブンイレブンからの寄付	寄付（一般）	100,000
R5	6月21日	沖環科からの寄付（マエダ電気）	寄付（一般）	1,000
R5	8月23日	沖環科からの寄付（沖縄市東部海浜開発局）	寄付（一般）	1,000
R5	7月27日	セブンイレブンからの寄付	寄付（一般）	41,000
R5	9月21日	昭島幼稚園からの寄付	寄付（一般）	47,000
R5	9月21日	藤橋明日香さんからの寄付	寄付（一般）	13,000
R5	10月11日	沖環科からの寄付（高橋土建）	寄付（一般）	1,000
R5	10月11日	沖環科からの寄付（琉球大学）	寄付（一般）	1,000
R5	10月11日	沖環科からの寄付（丸正印刷）	寄付（一般）	1,000
R5	10月30日	沖環科からの寄付（マエダ電気）	寄付（一般）	2,000
R5	11月15日	沖環科からの寄付（金秀建設）	寄付（一般）	1,000
R5	12月11日	沖環科からの寄付（コンベンションビューロー）	寄付（一般）	1,000
R5	12月19日	沖環科からの寄付（おきなわフィナンシャル）	寄付（一般）	1,000
R5	1月31日	沖環科からの寄付（第一建設）	寄付（一般）	1,000
R5	1月31日	沖環科からの寄付（マエダ電気）	寄付（一般）	1,000
R5	1月31日	沖環科からの寄付（海邦銀行）	寄付（一般）	1,000
R5	2月14日	沖環科からの寄付（マエダ電気）	寄付（一般）	1,000
R5	2月16日	沖環科からの寄付（那覇電工）5件	寄付（一般）	5,000
R5	2月20日	沖環科からの寄付（マエダ電気）	寄付（一般）	1,000
R5	3月22日	沖環科からの寄付（沖縄銀行）	寄付（一般）	1,000
			合計	224,000

令和6年度寄付金一覧				
R6	5月2日	沖環科からの寄付（福地組他）	寄付（一般）	1,000
R6	5月28日	沖環科からの寄付（高橋土建）	寄付（一般）	1,000
R6	6月28日	沖環科からの寄付（高橋土建）	寄付（一般）	1,000
R6	7月30日	沖環科からの寄付（オカノ）	寄付（一般）	1,000
R6	7月30日	沖環科からの寄付（PGMゴルフ）	寄付（一般）	1,000
R6	9月10日	沖環科からの寄付（光電気）	寄付（一般）	1,000
R6	9月30日	沖環科からの寄付（沖縄市東部海浜）	寄付（一般）	1,000
R6	10月10日	沖環科からの寄付（琉球大学）	寄付（一般）	1,000
R6	9月30日	非公表希望者からの寄付	寄付（一般）	1,111
R6	10月10日	沖環科からの寄付（尚平工業）	寄付（一般）	1,000
R6	11月1日	沖環科からの寄付（サッカー協会）	寄付（一般）	1,000
R6	11月26日	沖環科からの寄付（南西土建他）	寄付（一般）	1,000
R6	11月29日	沖環科からの寄付（エッカ石油）	寄付（一般）	1,000
R6	12月2日	沖環科からの寄付（高橋土建）	寄付（一般）	1,000
R6	12月4日	沖環科からの寄付（那覇電工）	寄付（一般）	1,000
R6	12月13日	沖環科からの寄付（国場川水あしび）	寄付（一般）	1,000
R6	1月21日	沖環科からの寄付（南雄建設）	寄付（一般）	1,000
R6		全県高校生代表者会議グリーンデー募金	寄付（一般）	156,524
			合計	173,635

その他

寄付者 株式会社セブンイレブン・沖縄

寄付予定額 100,000円

◆想定される令和6年度収支報告について

2024年度収支予算（1月31日作成※12月27日時点情報含む）

歳入				
項目	前年度決算	今年度予算	今年度決算想定	備考
寄付金収入合計	224,000	120,000	120,000	あくまで想定
その他	(201,000)	(100,000)	(100,000)	
沖環科	(23,000)	(20,000)	(20,000)	
アラムコ寄付	0	0	0	
助成金	0	0	0	
受取利息合計	338	35	35	
一般会計	(43)	(10)	(10)	受取利息内訳
サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(212)	(10)	(10)	受取利息内訳
アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(12)	(5)	(5)	受取利息内訳
アラムコ養殖移植事業基金	(71)	(10)	(10)	受取利息内訳
前期繰越金合計	39,011,426	30,640,140	30,640,140	R5年度からの繰越金 アラムコ繰越 26,476,732 円
一般会計	(5,985,360)	(4,163,408)	(4,163,408)	前期繰越金内訳
サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(22,073,455)	(22,019,751)	(22,019,751)	アラムコ助成事業 (R5年度は未実施)
アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金	(3,482,231)	(1,352,145)	(1,352,145)	ジュニアサンゴレンジャー
アラムコ養殖移植事業基金	(7,470,380)	(3,104,836)	(3,104,836)	久米島漁協・OCVB
アラムコ基金外貸口座	\$22.01	\$22.01	\$22.01	
合計	39,235,764	30,760,175	30,760,175	
	\$22.01	\$22.01	\$22.01	
歳出				
項目	前年度決算	今年度予算	今年度決算	備考
アラムコ助成事業(基金)	53,916	7,960,000	7,670,000	サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
助成金(2024)		(7,000,000)	(7,000,000)	5団体採用
助成金戻り(2023)		-	(0)	
助成金(2023未払金)		-	(0)	
発表会会場費・広報費等		(200,000)	(0)	発表会は繰越次年度に
発表会旅費	(53,421)	(150,000)	(50,000)	謝金
活動費(振込手数料など)	(495)	(10,000)	(20,000)	活動費
審査会旅費等		(100,000)	(100,000)	
委託費		(500,000)	(500,000)	沖環科
ジュニアサンゴレンジャー事業(基金)	2,130,098	3,610,000	3,531,600	アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金
ジュニアサンゴレンジャー支援	(439,414)	(1,000,000)	(999,000)	10団体採用
JSR助成金(未払金)			(0)	
ジュニアサンゴレンジャー旅費	(207,364)	(500,000)	(500,000)	予算
活動費(振込手数料など)	(26,920)	(10,000)	(10,000)	
謝金		(300,000)	(300,000)	前年度謝金なし(あくまで想定)
委託費	(1,456,400)	(1,800,000)	(1,722,600)	キュリオス
アラムコ養殖移植事業(基金)	4,365,615	13,660,000	10,383,400	Aramco Okinawa Coral Reef Conservation Fund
移植事業支援	(3,645,570)	(9,000,000)	(8,981,400)	R6久米島6,279,400OCVB2,702,000計画額
移植事業支援(未払金)			(0)	
成果報告会		(3,000,000)	(0)	R7年度に繰り越し実施予定
移植事業旅費	(134,245)	(400,000)	(154,000)	R5久米島150,000OCVB4,000
活動費(振込手数料など)	(2,800)	(10,000)	(10,000)	
謝金		(50,000)	(50,000)	
委託費	(583,000)	(1,200,000)	(1,188,000)	海研

次項につづく

事業費(一般会計)		1,663,777	2,640,000	2,640,000	予定
サンゴ礁ウィーク 小計(2,640,000)	活動費	(1,073,090)	(1,200,000)		
	賃借料				
	旅費	(36,407)	(200,000)		
	謝金				
	通信費		(50,000)		
	雑費	(5,380)	(10,000)		
	委託費	(548,900)	(1,100,000)	(1,100,000)	キュリオス
	印刷製本 支援金戻り		(80,000)		
管理費(一般会計)		382,218	1,626,000	646,000	
NPO法人化 小計(710,000)	旅費		(100,000)	(0)	法人化委員会行わず
	謝金		(100,000)	(0)	
	雑費		(10,000)	(0)	
	委託費		(500,000)	(0)	
理事会 小計(315,000)	賃借料		(10,000)	(10,000)	2/22開催分
	旅費	(84,780)	(300,000)	(300,000)	
	雑費	(1,300)	(5,000)	(5,000)	
総会 小計(190,000)	活動費		(20,000)	(20,000)	2/22開催分
	賃借料	(28,300)	(20,000)	(20,000)	
	旅費		(100,000)	(100,000)	
	通信費		(50,000)	(50,000)	
	雑費	(55)		(0)	
交流会 小計(170,000)	活動費		(50,000)	(0)	交流会行わず
	賃借料		(10,000)	(0)	
	旅費		(100,000)	(0)	
	雑費		(10,000)	(0)	
委員会 小計(100,000)	旅費		(100,000)	(0)	サンゴ礁ウィーク実行委員会のみ
	通信費			(0)	
選挙 小計(122,000)	印刷製本		(30,000)	(30,000)	4月～5月実施
	旅費		(2,000)	(2,000)	
	謝金		(10,000)	(10,000)	
	通信費		(80,000)	(80,000)	
一般事務 小計(1,014,000)	雑費	(380)	(2,000)	(2,000)	
	賃借料	(5,238)	(7,000)	(7,000)	サーバー、ドメイン
	旅費	(12,000)	(5,000)	(5,000)	
	消耗品費			(0)	
	委託費		-	-	webサイト作成
その他(支出) 小計(5,000)	活動費		(5,000)	(5,000)	
	旅費			(0)	
	賃借料			(0)	
	雑費	(165)		(0)	
	通信費			(0)	
	印刷製本			(0)	
	委託費	(250,000)		(0)	
次期繰越金		30,640,140	1,264,175	5,889,175	4,891,757
一般会計		(4,163,408)	(17,418)	(997,418)	
サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金(助成事業)	(22,019,751)	(14,059,761)	(14,349,761)		
アラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金(JSR)	(1,352,145)	-(2,257,850)	-(2,179,450)		助成事業からJSRに300万円回します
アラムコ養殖移植事業支援基金	(3,104,836)	-(10,555,154)	-(7,278,554)		助成事業枠から移植事業へ700万円に回します。
アラムコ基金外貸口座		\$22.01	\$22.01	\$22.01	
合 計		39,235,764	30,760,175	30,760,175	
		\$22.01	\$22.01	\$22.01	

(5) 令和7年度事業計画について

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 2025(令和7)年度事業計画(案)												
2025年度 事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会・交流会		5月中	第37回理事会		7月下旬	第16回総会、第38回理事会				第39回理事会	未定	
役員選挙 (次回改選は2026(令和8)年)												
サウジアラムコ助成事業 成果報告会	準備期間				7月下旬	成果報告会						
サンゴ礁ウィーク2026 (予算・実施体制に応じて検討)			サンゴ礁ウィーク2025 とりまとめ			準備期間		SW実行委員会設置 3/5を含む前後1週間程度 (2月28日(土)~3月15日(日))予定		サンゴ礁ウィーク		
							企画決定	イベント公募	会場手配等	取りまとめ・広報など		
サウジアラムコ サンゴ養殖移植助成事業 (R6事業完了)	4/7	活動報										
	4月上旬	会計報告・2024年分支払い										
サウジアラムコ助成事業 (同種事業の実施未定)	4月上旬	実績額確定・2024助成金支払										
ジュニアサンゴレンジャー事業 (予算・実施体制に応じて検討)	5月上旬	公募		6月上旬	公募締切		6月下旬	助成先選定審査		7月上旬	助成先の決定・事業開	
									事業実施			
サンゴ礁イメージ展 (実施未定)	※スケジュールは過年度のものを参考掲						イメージ展 公募期間(10月~1月)		展示 コンテスト	展示		
	HP等による広報(通年)						受賞者決定					
那覇空港写真展 (実施未定)	※スケジュールは過年度のものを参考掲						7/12~9/30 写真展開催					
ホームページの維持管理	維持管理											
後援、共催、協賛	随時											
出版事業	※出版事業の実施については、予算の状況に応じて検討する											
その他活動に必要な事項 ・広報資料等の作成	随時											

(6) 規約・細則改正について

■ 総会・理事会について

・【総会・理事会 費用】

通信費	(総会資料郵送費)	270 円×140 人	37800 円
	返信封筒	110×140 人	15400 円
	再配達等	270×20 人	5400 円
会場費	八汐荘		約 15000 円
旅費等	理事会旅費①	往復 50 k m以上 4000 円×10	40000
	理事会旅費②	往復 50Km未満 2000 円×5	10000
	理事旅費③	県外実費 航空費等 例東京	約 40000
			約 163600 円

上記において事務局での印刷費、人件費などは含まれていません。

(案) コスト削減のためメーリングリストのみで行う。

②規約の改正について

■ 宛先不明の会員・応答のない会員について

(案) 規約に自動退会を明記

■ メールが届かない会員の議決権について

■ 辞退を希望する理事について

(案) 規約に辞任の意向を妨げない条文追加

■ 寄付金細則について

・前回第 33 回 34 回理事会で鹿熊理事から提案のあった、審査の必要がないと認められる寄付希望者について、企画委員会の審査を省略し、理事会の承認を図れるようにすることについて、寄付金等細則の改正案を事務局から提案している。

○審査の必要がないとする基準が明確でないことや、寄付に関する理事会、委員会の責任のあり方について意見があったことから、今回理事会での承認は保留とし、継続審議となった。

■ オンライン化に伴うホームページの改修検討

■協議会事務の業務について

会計管理	沖環科
ホームページ管理	沖環科
寄付金管理	沖環科
名簿管理	自然保護課
事業管理	自然保護課
理事会・総会準備	自然保護課

- ◆事務業務の委託
- ◆持ち回りで事務局移動
- ◆法人化

⑥協議会の休眠化について

- ・総会議決が必要
- ・寄付金について対処
- ・今年度はアラムコ報告会があるため、下半期もしくは令和8年以降

⑦協議会の解散について

- ・総会議決が必要
- ・寄付金の対処
- ・令和8年以降

(6) その他

(資料) Web 掲載

【設立趣意書】

私たちが生活する沖縄の島々はサンゴ礁が基盤となってできています。台風が常襲する沖縄にとってサンゴ礁は、自然の防波堤としての重要な役割を果たしているだけでなく、熱帯雨林と並ぶ多種多様な生物の宝庫でもあり、私たちに漁業資源や観光資源など様々な恩恵をもたらしてくれます。

かつて沖縄では、島という限られた陸地とサンゴ礁を活用し、環境と調和のとれた半農半漁の生活が営まれていました。人々は多様性に富んだサンゴ礁とそれに続く広大な海に向き合い、海を敬い親しむ風土を古くから継承しながら、ニライ・カナイ信仰とそれにまつわる儀式や浜下りなどの行事にみられる民俗や特色ある芸術、さらには歴史的遺産にいたるまで、沖縄独自の文化を創りあげてきました。しかしながら、その様相は近年になって急激に変化しています。

1972年に本土復帰を果たした沖縄では、米軍基地問題を先送りしたまま「本土並み」を合い言葉に、数次にわたる沖縄振興計画に基づいた諸分野の産業振興策が進められ、都市基盤、医療・福祉、教育等の環境が着実に整備されました。

その中でサンゴ礁は、新たな経済産業基盤として脚光を浴びる観光分野での重要な社会資産となります。しかし一方で、商業メディアに求められる「青い海、白い砂浜」という単調なイメージ広告が繰り返し展開された結果、県民自身も自ら求めた経済発展の影で多様な伝統的価値観を失い、現実感の伴わない画一化されたイメージだけが浸透していきました。このようにして、サンゴ礁の実態を深く知る機会を失ってしまいました。

さらに、私たちの暮らし方、いわゆる開発、農業・観光・漁業などの諸産業の活動が、直接間接にサンゴ礁生態系の破壊と疲弊を引き起こしています。永い年月をかけて形成された貴重なサンゴ礁は次々に埋め立てなどにより消失しました。幸いにして残ったサンゴ礁も、止まらない赤土や汚水の流出、オニヒトデの大発生、サンゴの病気に加えて、過剰利用によってサンゴ礁の持つ優れた資源的価値を損ない、その存続が危ぶまれています。

これらに加えて、頻発する白化現象など、地球規模の気候変動による海水温の上昇や海洋酸性化は、サンゴ礁にも大きな影響を及ぼしつつあり、問題はより広域化・複雑化しています。世界的にも貴重な沖縄のサンゴ礁を健全な状態で次世代へ残すために、その保全に取り組むことが急務です。

2004年に沖縄で開催された国際サンゴ礁シンポジウムでの「沖縄宣言」や、2007年発効の海洋基本法を始めとする国内の法整備など、研究者や国によるサンゴ礁保全への取り組みが始まっています。沖縄においても、地域の自治体やNPOや企業による海岸清掃、オニヒトデ駆除、海の観察会、サンゴ群集再生の試み、観光業・漁業者による海域利用のルール作りなど、さまざまな活動が進められています。こうした活動を効果的に行いより良い結果を導くには、サンゴ礁を取り巻く自然・文化・社会・経済の特性や多様な価値観を十分理解したうえで、それぞれの活動を相互に連携させて持続的に進めていくことがとても大切です。

そのためには、持続可能なサンゴ礁の利用による地域づくりをすすめ、地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関など、さまざまな人々を横断的に結びつける組織が必要です。そしてその組織を総合的で持続的に運営してゆくには、異なった立

場にある多くの人々が、自由に情報や意見交換を行える場がつけられること、多様な参加と協力が行える仕組みを用意することも必要です。

このような組織を目指してここに「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」を設立します。

平成 20 年 5 月 18 日

(仮称) 沖縄県サンゴ礁保全・再生推進協議会設立準備会合委員一同

上里幸秀、上田邦太郎、浦崎 晃、岡地 賢、垣花武信、鹿熊信一郎、梶原健次、後藤亜樹、小林靖英、桜井国俊、寺田麗子、
中野義勝、中谷誠治、中山恭子、西平守孝、平井和也、平田春吉、宮城俊彦、安村茂樹、横井仁志、
吉田 稔 (アイウエオ順)

【基本理念】

本協議会は、沖縄にとって真に持続可能な社会を形成するために、健全なサンゴ礁を次世代に残すことが不可欠であることを踏まえ、サンゴ礁の保全に取り組みます。

1 総合的なサンゴ礁保全の推進

海域にとどまらず、陸域を含めた総合的で持続的なサンゴ礁の保全活動を推進します。

2 多様な主体の連携

地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関などのさまざまな主体と連携を深めながら、サンゴ礁の保全を横断的に推進します。

3 地域のサンゴ礁保全への支援

サンゴ礁の保全にかかわるさまざまな情報を収集し地域へ提供するとともに、地域からの要望や課題を共有し、その解決策を提案することなどにより、サンゴ礁の保全を支援します。

4 意見表明の自由の保証と協議会の中立性の確保

本協議会では、構成員の自由な意見表明を保証すると共に、協議会としては、特定の政治、思想、経済的利益にとらわれることなく、さまざまな利害や意見に対して中立かつ公平な姿勢でサンゴ礁の保全に取り組みます。

〈HP 掲載事項〉

【協議会の活動】 わたしのサンゴ礁コンテスト

【各地域のサンゴ礁保全に関わる問題の収集と周知】

【会員活動紹介】 自然再生、エコツーリズム、自然観察・会員の活動紹介

【助成事業】 サウジ・アラムコ珊瑚保全活動助成事業

【お問い合わせ】

【事務局ブログ】